

工 事 番 号	部 長	課 長	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和2年度	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))				
施工月日	令和 年 月 日	橋梁長寿命化修繕事業				
施工方法	請 負	三原市 中之町六丁目				
工事期間		<div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px;">交付金</span> <span style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;">仕 様 書</span> </div>				
工 事 概 要						
橋梁補修 N=1橋						
ひび割れ補修工		74.6m				
断面修復工		0.117m <sup>3</sup>				
表面含浸工		161m <sup>2</sup>				
伸縮継手工		12.0m				
薄層樹脂舗装工		85m <sup>2</sup>				

# 特記仕様書

## 第1章 総則 第1節

### 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市中之町六丁目 橋梁補修工事（市道中之町64号線1号橋梁(西田橋)）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

- ・ **土木工事共通仕様書（令和2年8月）広島県**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

## 第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第2章 施工条件 第1節

### 工程

#### 1 施工時期・時間の制限

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 施工内容 | 工事全般   |
| 時期       | 全工事期間  |
| 時間       | 調整による  |
| 施工方法・理由  | 工事箇所が生活道路であるため、工程調整を十分に行い、近隣住民の理解を得て施工を行うこと。 |

## 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

## 第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員  
車道上の作業期間中、交通誘導員を2（人／日）、また、伸縮継手工および舗装工については、交通誘導員4（人／日）見込んでいる。

#### 第4節 工事用道路

##### 1 一般道路

使用期間

工事施工期間

使用時間

8時～17時

工事中・後の処置

随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

#### 第5節 建設副産物

##### 1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 第6節 その他

##### 1 工事用機資材の仮置き

場所

受注者が責任をもって確保すること。

##### 2 各補修工の事前調査

受注者は、橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

##### 3 法定外の労災保険 の付保

1) 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

### 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
舗装打換え工		式	1	レベル3
舗装版はつり工	コンクリート舗装 t=1cm	m2	85	レベル4
表層	薄層樹脂舗装工	m2	85	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
埋設ジョイント補修	MMジョイント 相当	m	12.0	レベル4
地覆止水対策工	シリコン系シーリング材	構造物	1	レベル4
排水施設工		式	1	レベル3
排水管	VP100	箇所	7	レベル4
橋梁用防護柵工		式	1	レベル3
橋梁用防護柵		m	2	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	亜硝酸リチウム水溶液混入超微粒子セメント 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

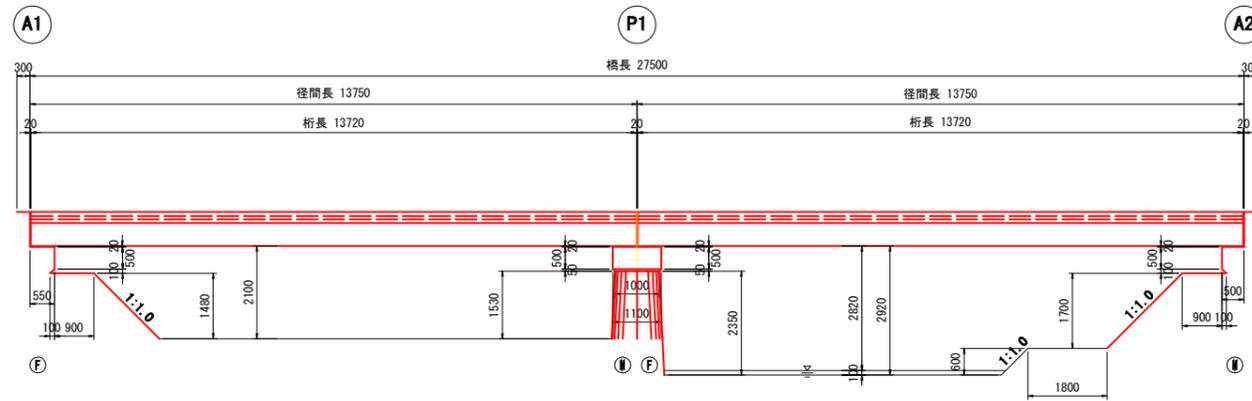
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
左官工法	亜硝酸リチウム水溶液混入ポリマーセメント 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理		橋	1	レベル4
表面含浸工	上部工 シラン系表面含浸材	橋	1	レベル4
表面含浸工	下部工 亜硝酸リチウム併用シラン系表面含浸材	橋	1	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工	後付け型水切材	m	56	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
道路付属構造物塗装工		式	1	レベル3
塗装準備工		m	55	レベル4
素地調整	防護柵類	m2	84	レベル4
下塗	フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩	m2	84	レベル4
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色	m2	84	レベル4
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色	m2	84	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	1	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	1	レベル4

# 工事数量総括表

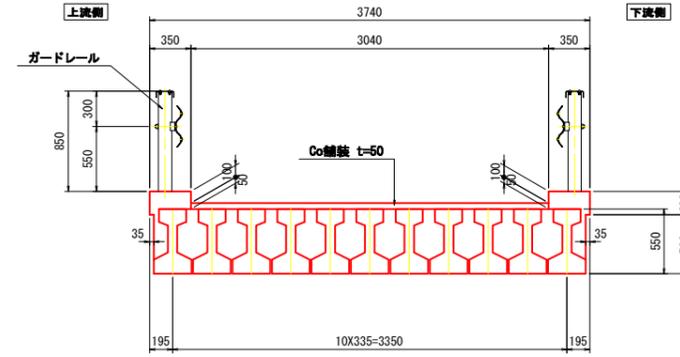
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	40	レベル4
<b>**直接工事費**</b>				
共通仮設費率分				
<b>**共通仮設費計**</b>				
<b>**純工事費**</b>				
現場管理費				
<b>**工事原価**</b>				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
<b>**工事価格**</b>				
<b>**消費税相当額**</b>				
<b>**工事費計**</b>				
<b>**契約保証費計**</b>				

# 現橋一般図(西田橋)

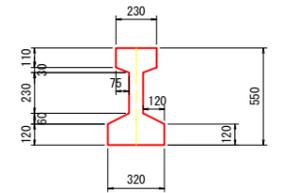
側面図 S=1/80



断面図 S=1/30



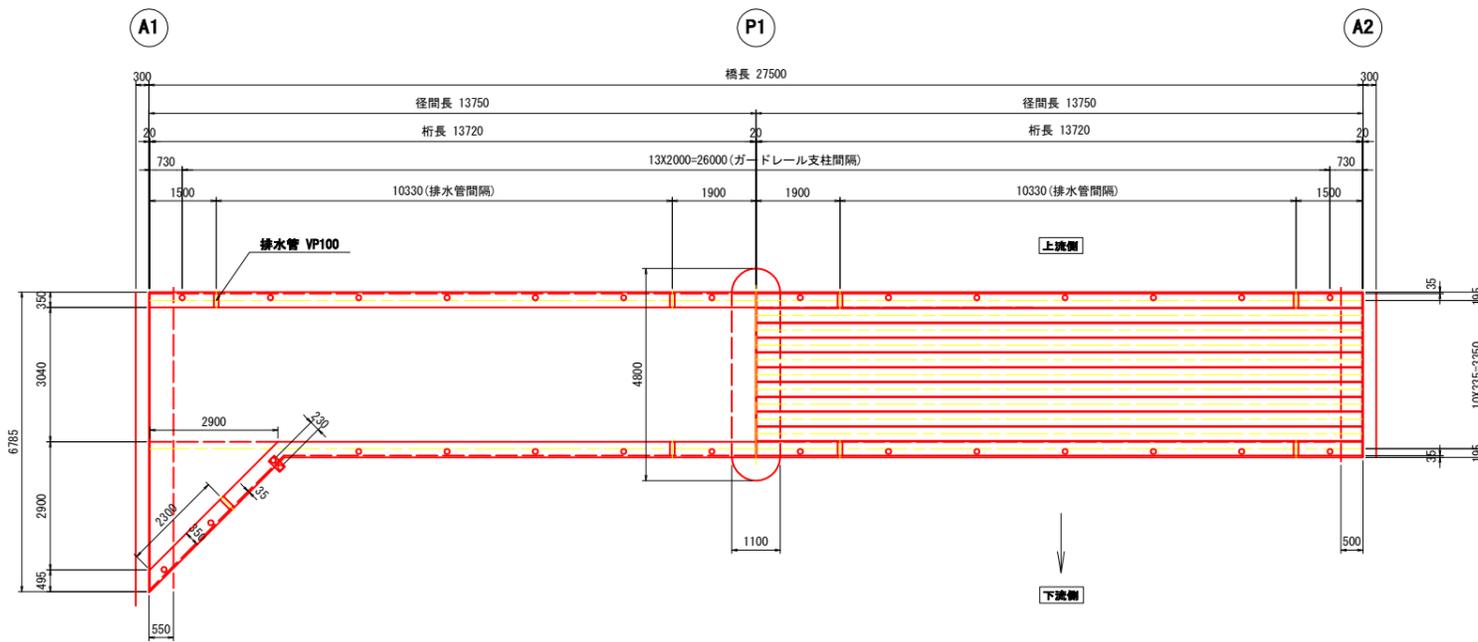
主桁推定断面図 S=1/20



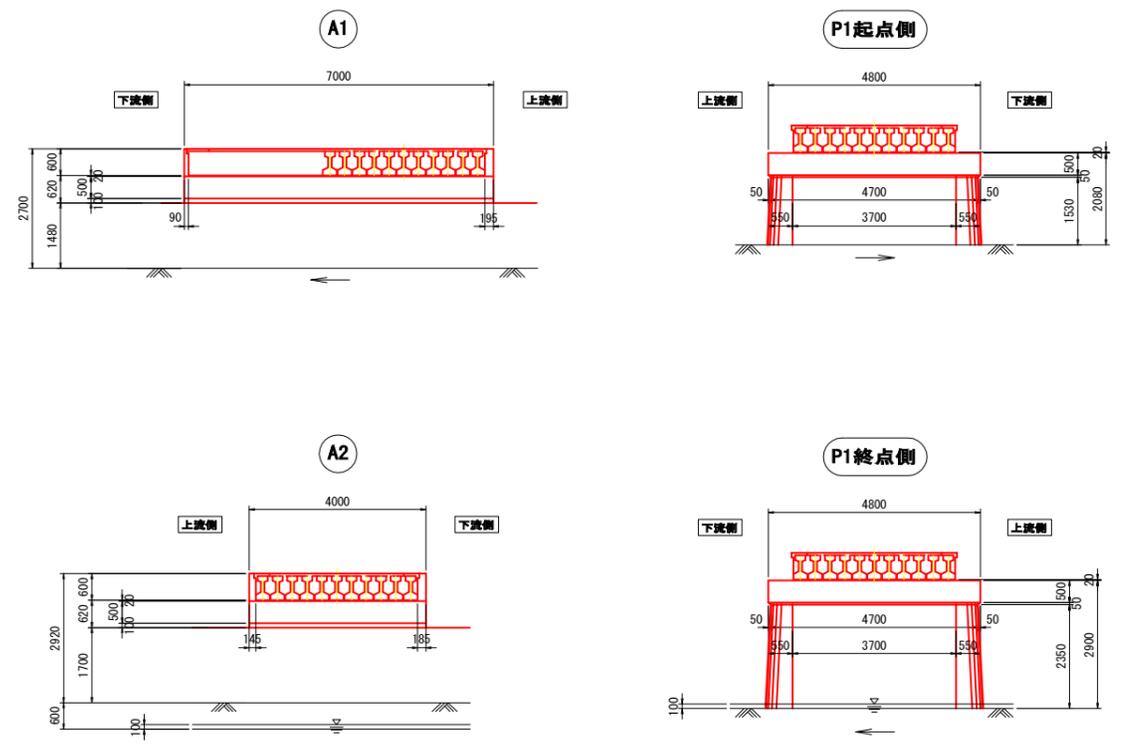
注記)  
桁長・推定桁高・道路幅員・架設年度等の  
情報を整理し、主桁形状を推察した。  
スラブ橋用プレストレストコンクリート橋ゲタ (JIS A 5313-59)  
二等橋 (T-14) S213 (推定)

注、支承条件は不明。2径間単純桁であり移動側(Mov)固定側(Fix)の交互配置と想定し記載する。  
(伸縮装置選定においては、対応可能なタイプを選定すること)

平面図 S=1/80



正面図 S=1/80



## 設計条件(推定)

橋格	車道橋
所在地	三原市中之町6丁目
形式	プレテンション方式PC中埋合成床版
構造形式	2径間連続PC中埋合成床版 +重力式橋台+重力式橋脚+重力式橋台
径間数	2径間連続
橋長	27.500m
桁長	13.750+13.750m
幅員	有効幅員 3.040m
斜角	90°
平面線形	R=∞
舗装	コンクリート舗装 50mm
設計荷重	床版 T-14
添加物	-
鋼材材質	PC:PC鋼線φ2.9 鉄筋:SS41 (想定)
下部工基礎	直接基礎(想定)
適用指針	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 (S33年) 鋼道路橋設計示方書 (S33年)
架設年次	1963年

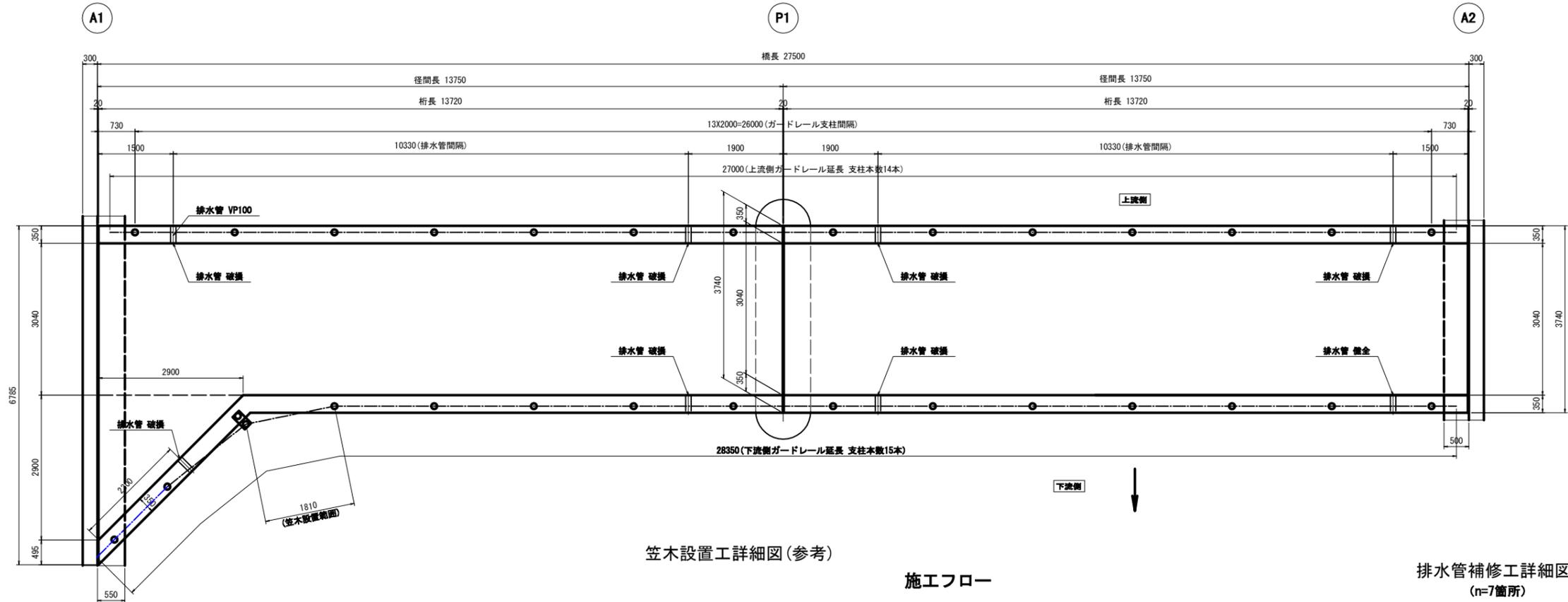
注記)  
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	現橋一般図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	1 / 5
事業者名	三原市(土木整備課)		

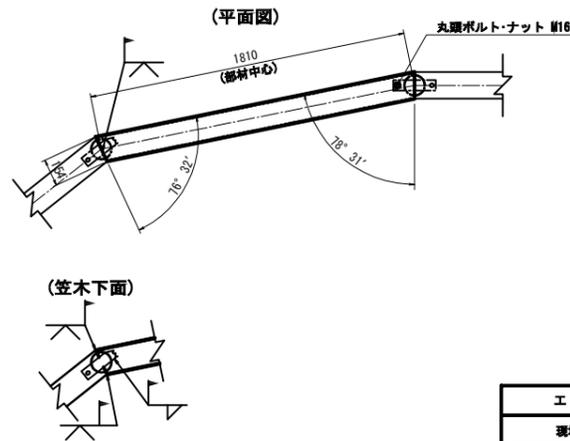
# 補修図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))(その1)

上部工  
(塗装塗替工・笠木設置工・排水管補修工)

平面図 S=1/50  
(床版上面)

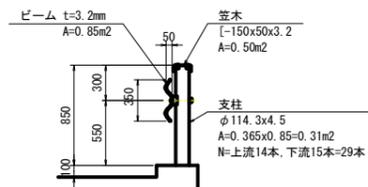


笠木設置工詳細図(参考)



塗装塗替工詳細図(参考)

ガードレール詳細図 S=1/30



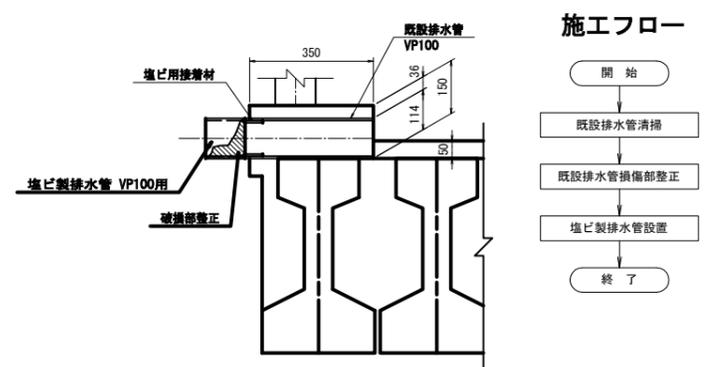
ガードレール数量

	上流側	下流側	計
笠木	27.00m	28.35m	55.35m
ビーム	27.00m	28.35m	55.35m
支柱	14本	15本	29本

施工フロー



排水管補修工詳細図(参考)  
(n=7箇所)

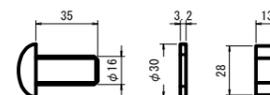


材料表

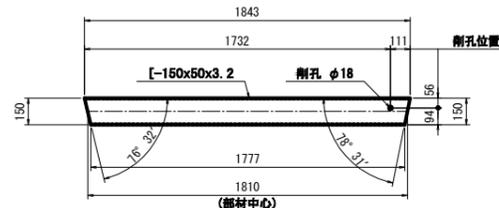
工種	仕様
排水管補修工	塩ビ製排水管 VP100用(塩ビ用接着材)

工種	仕様
現場溶接工	現場溶接延長 L=0.403m
笠木設置工	溝形鋼 [-150x50x3.2 L=1.843m
	削孔 φ18 n=1箇所 現場施工
	丸頭ボルト・ナット M16 n=1箇所

(丸頭ボルト・ナット詳細図)



(笠木加工図)



注記) 1. 削孔部は現地に確認の上、削孔すること。

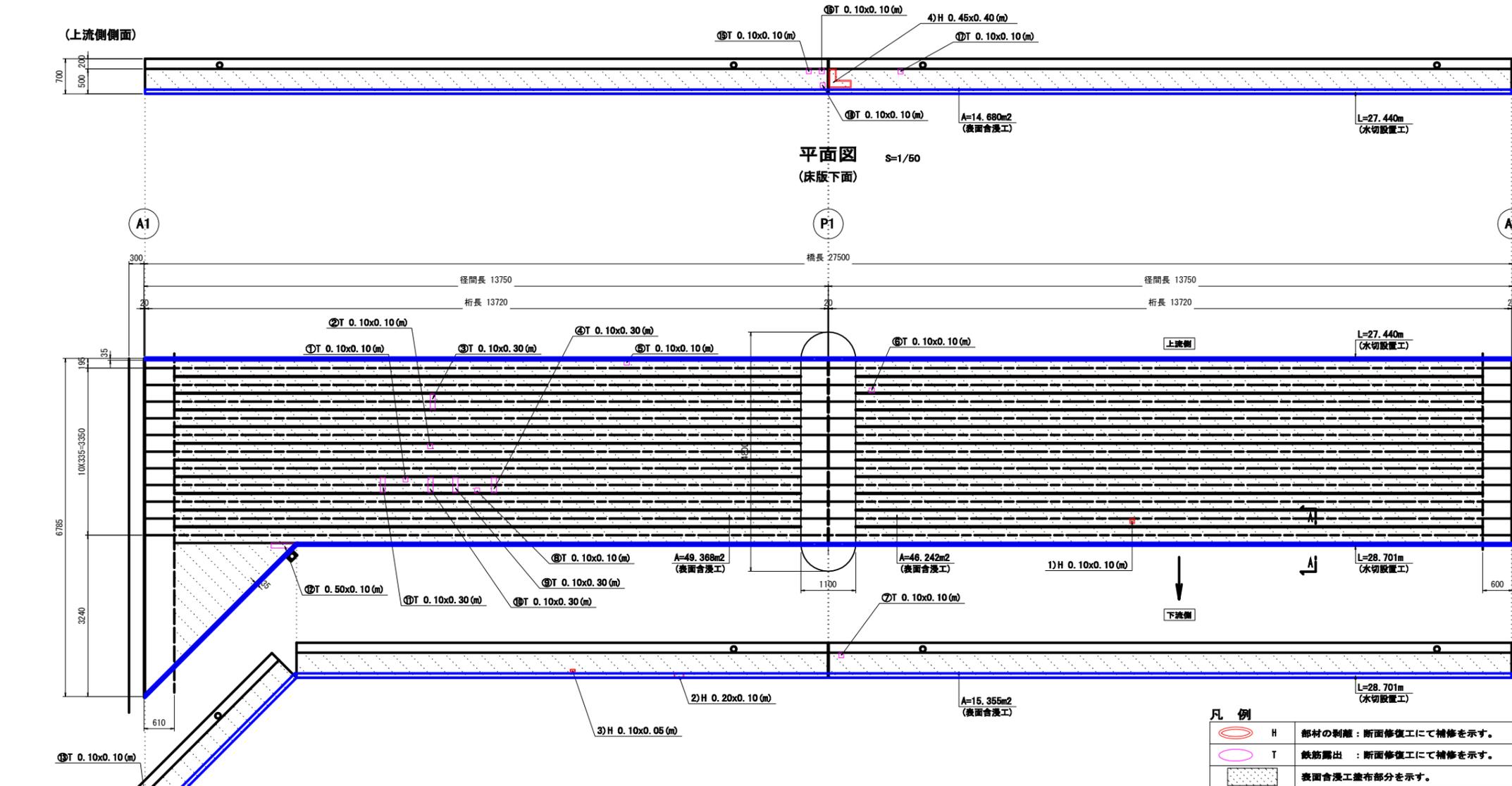
- 注記)
1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
  2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
  3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	補修図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
事業者名	三原市(土木整備課)		

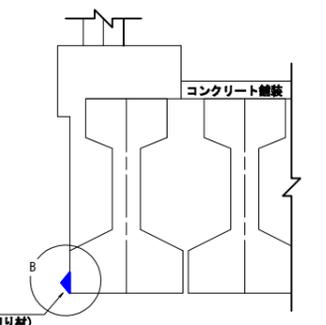
# 補修図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))(その2)

## 上部工

(断面修復工・排水管補修工・塗装塗替工・水切設置工)

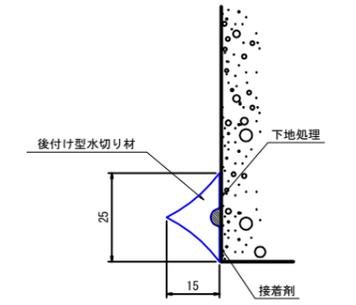


A-A部詳細図(参考)



注) 含浸材は、断面修復工の有無に関わらず、主桁の下面および側面全体に対して塗布すること。

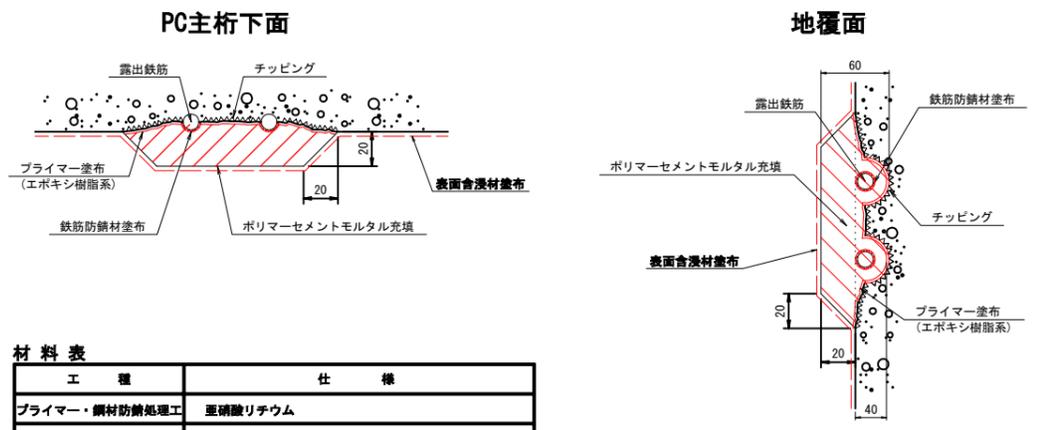
B部詳細図(参考)



注) 1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてプロアーも併用すること。  
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。  
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

断面修復工詳細図(参考)

(上部工 左官工法)

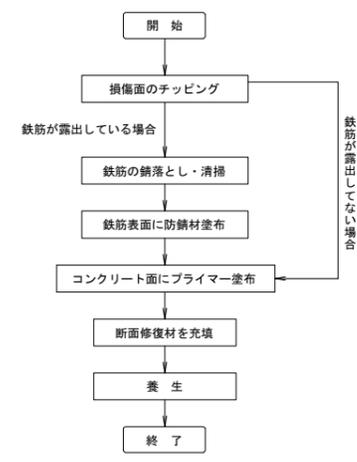


材料表

工種	仕様
プライマー・鋼材防錆処理工	亜硝酸リチウム
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材(亜硝酸リチウム混入)

注) 地覆面のはつり厚はt=40mmにて算出する。(3D程度を確保) 充填(復旧)厚t=60mmにて算出する。

施工フロー

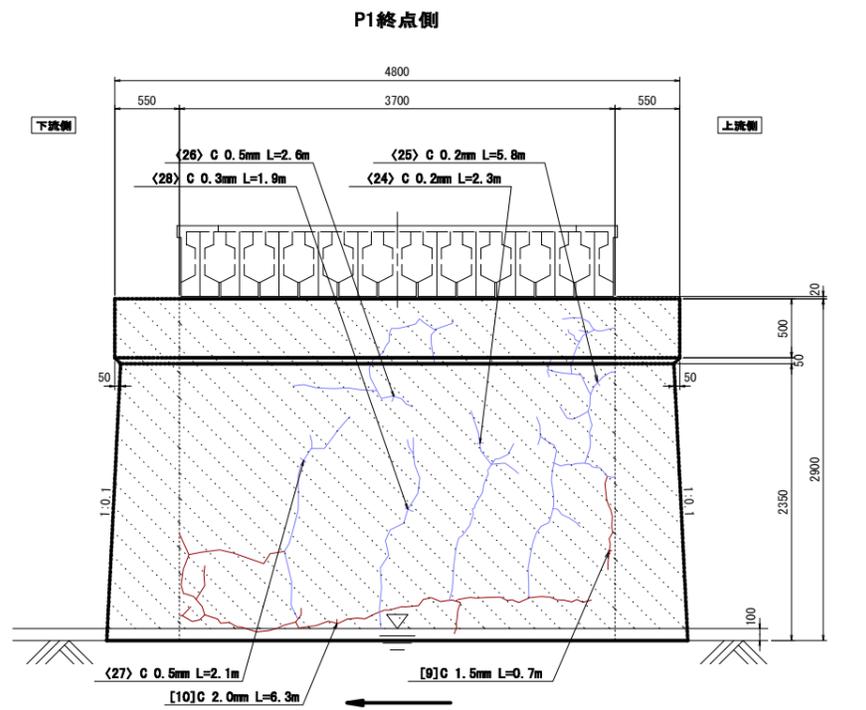
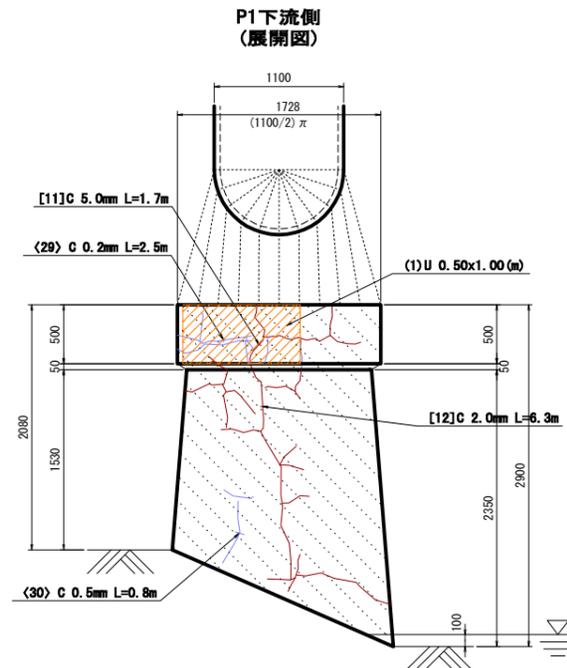
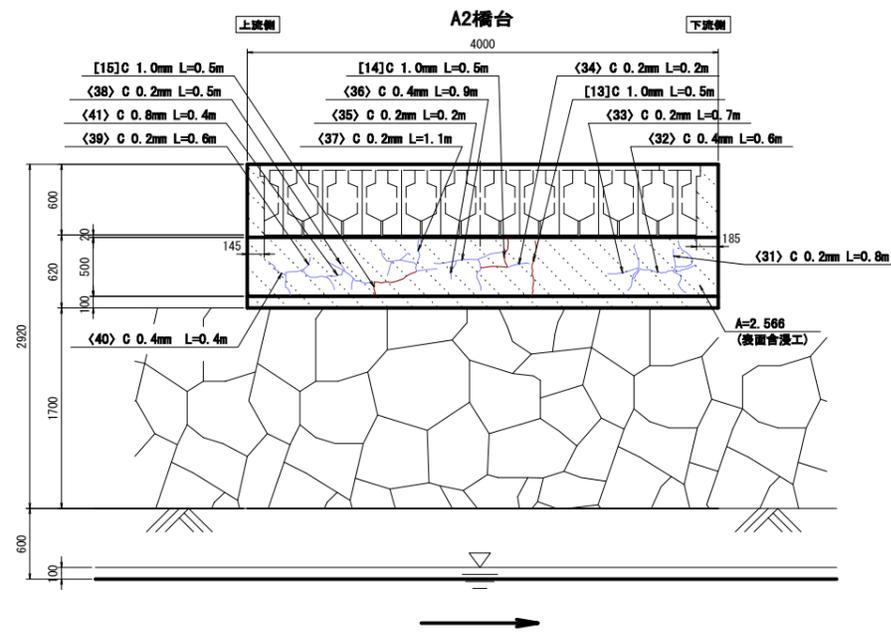
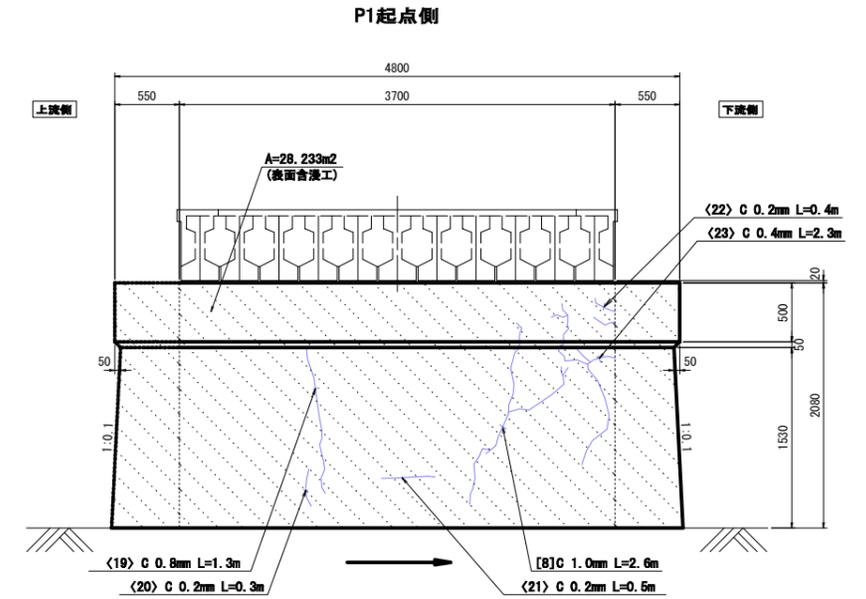
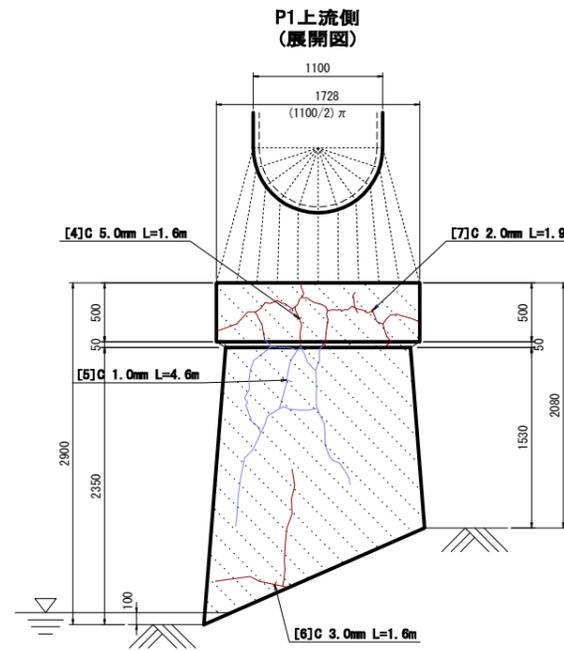
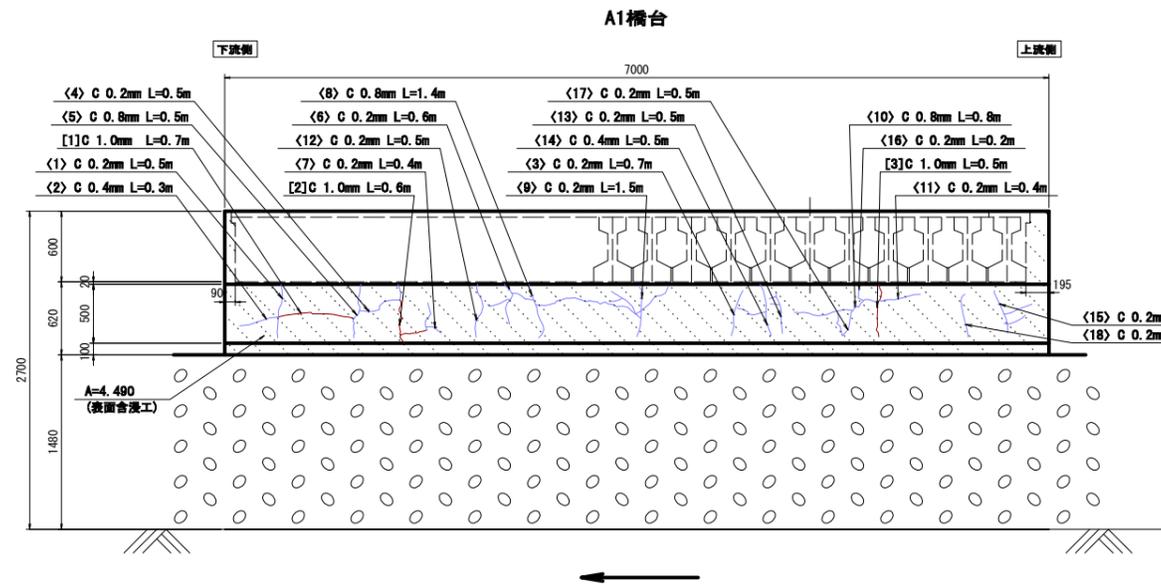


工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	補修図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	3 / 5
事業者名	三原市(土木整備課)		

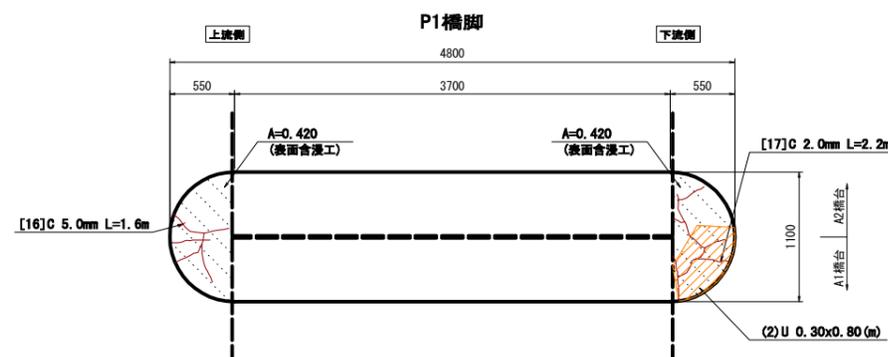
# 補修図(中之町64号線1号桥梁(西田橋))(その3)

下部工

正面図 S=1/30



平面図 S=1/30



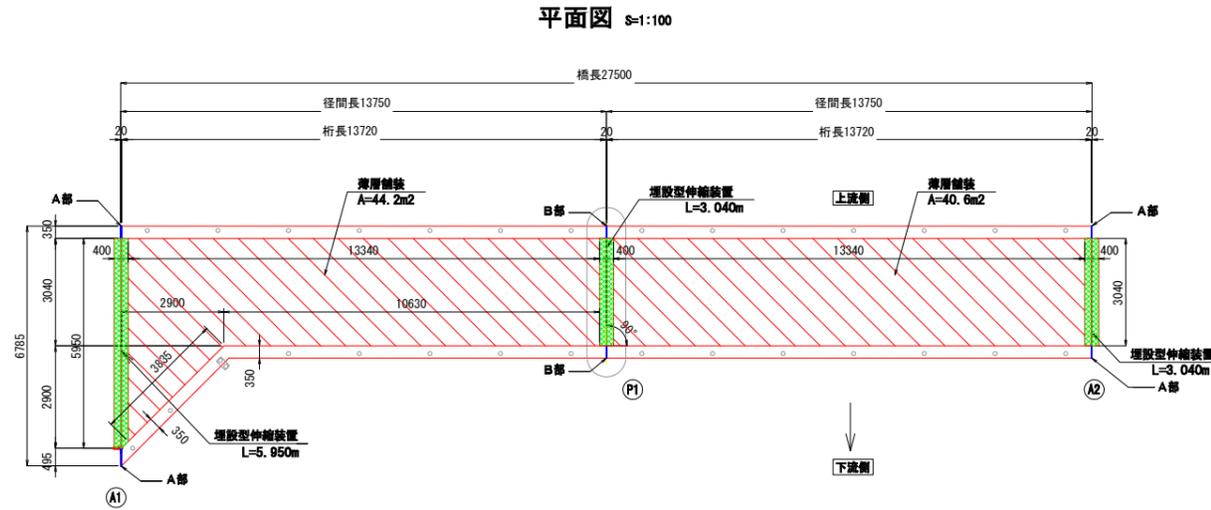
凡例

	C	ひび割れ	: ひび割れ補修工にて補修を示す。
	U	コンクリートの厚き	: 断面修復工にて補修を示す。
		表面含浸工塗布部分	: 塗布部分を示す。

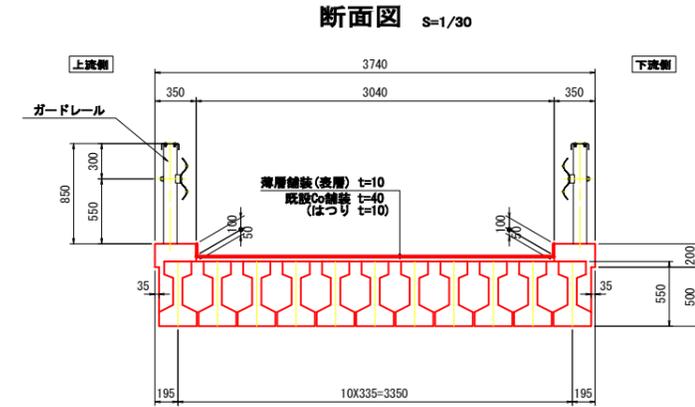
工事名	桥梁補修工事(市道中之町64号線1号桥梁(西田橋))		
図面名	損傷図(中之町64号線1号桥梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	4 / 5
事業者名	三原市(土木整備課)		

# 補修図(中之町64号線1号橋梁<西田橋>)(その4)

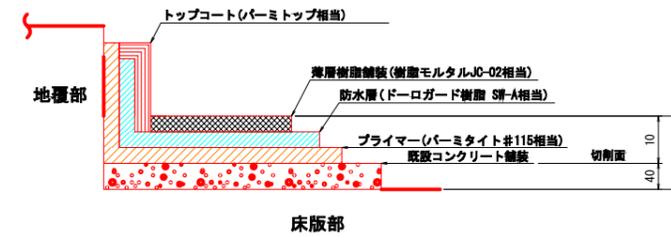
## 路面 (伸縮装置工および橋面防水工)



注：現行の排水管を埋設しないように施工すること。

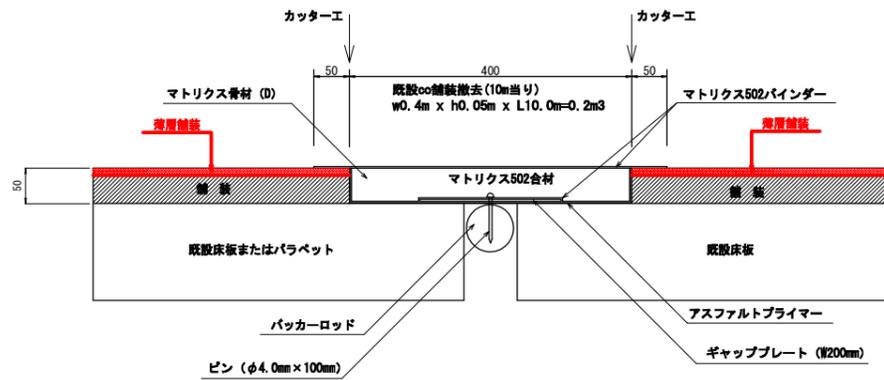


舗装(防水層)構成図(参考)



地覆目地工(参考)

伸縮装置断面図(参考)



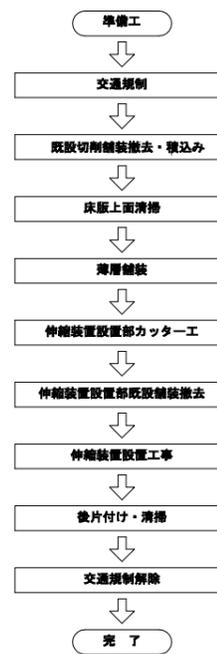
適用範囲

設計伸縮量	最大遊間	ジョイント幅(mm)	ジョイント厚
40mm以下	75mm以下	400 (遊間量20mm以下)	50~150mm

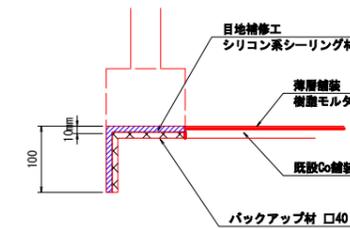
数量表

名称	品名	数量	備考(m)
伸縮装置	MMジョイント(埋設型)	0.200m <sup>3</sup>	h0.05* $w$ 0.4*L10.0
	マトリクス502合材		

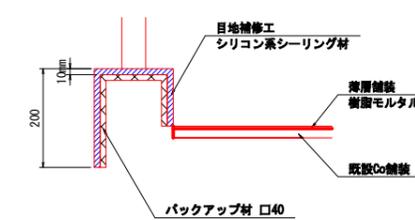
### 施工フロー



A部断面図：4ヶ所



B部断面図：2ヶ所



### 注記

1. 本図面は、現地計測及び既存資料をもとに作成した図面である。
2. 施工前には周辺住民に説明を行いご理解ご協力を得ること。
3. 施工時には河川の水位、天候に十分注意をすること。
4. 補修工事に当り、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。
5. 補修工法および補修範囲は、調査結果により決定しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
6. 現槽舗装撤去時は床版を損なわないよう施工すること。
7. 舗装切削および撤去後、著しく舗装および床版上面が損傷している場合は、別途対策を講ずること。(要発注者協議)

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	補修図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	5 / 5
事業者名	三原市(土木整備課)		

# 参 考 资 料

— 桥梁补修工事(市道中之町64号线 1 号桥梁(西田桥)) —

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-02.09.01(0)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版はつり工 コンクリート舗装 t=1cm	1	式			Y1G03040202 レベル4
コンクリートはつり 平均はつり厚3cm以下	85	m2			SPK20040112 00
表層 薄層樹脂舗装工	85	m2			単第0 -0001 表 Y1G03040211 レベル4
薄層樹脂舗装工 メタクリル樹脂モルタル舗装	85	m2			V0010 00
橋梁付属物工	85	m2			単第0 -0002 表 Y1G0321 レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
埋設ジョイント補修 MMジョイント 相当					Y1G03210102 レベル4
	12.0	m			
埋設型伸縮継手装置 MMジョイント 相当品					V0006 00
	12.0	m			単第0 -0008 表
地覆止水対策工 シリコン系シーリング材					Y4999 レベル4
	1	構造物			
地覆止水工 シリコン系					V0020 00
	1	構造物			単第0 -0012 表
排水施設工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
排水管 VP100					Y1G03210302 レベル4
	7	箇所			
塩ビ製排水管 VP100					V0008 00
	7	箇所			単第0 -0013 表
橋梁用防護柵工					Y1G032105 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁用防護柵	2	m			Y1G03210501 レベル4
笠木設置工 L=1.843	1	箇所			V0007 00 単第0 -0014 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 亜硝酸リチウム水溶液混入超微粒子セメント 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長74.6m	1	構造物			V1020037 00 単第0 -0015 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 亜硝酸リチウム水溶液混入ポリマーセメント 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 有	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・防錆処理を含む) 修復延べ体積0.117m3	1	構造物			V1020041 00 単第0 -0017 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	1	橋			Y1G03240601 レベル4
下地処理 時間制約無し, 高所作業車無し	1	橋			V0002 00 単第0 -0018 表
表面含浸工 上部工 シラン系表面含浸材	1	橋			Y4999 レベル4
表面含浸工 時間制約無し, 高所作業車無し シラン系含浸材	1	橋			V0003 00 単第0 -0019 表
表面含浸工 下部工 亜硝酸リチウム併用シラン系表面含浸材	1	橋			Y4999 レベル4
表面含浸工 時間制約無し, 高所作業車無し 亜硝酸リチウム併用シラン系含浸材	1	橋			V0004 00 単第0 -0020 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工 後付け型水切材	56	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	56	m			V0009 00 単第0 -0021 表
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
道路付属構造物塗装工	1	式			Y1G032502 レベル3
塗装準備工	55	m			Y4999 レベル4
防護柵設置工(Gr) レール設置 路側用_A・B・C種 手間のみ	55	m			SS000125 00 単第0 -0022 表
防護柵設置工(Gr) レール撤去 路側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)	55	m			SS000129 00 単第0 -0023 表
素地調整 防護柵類	84	m2			Y1G03250201 レベル4
素地調整 防護柵類	84	m2			SPK20040313 00 単第0 -0024 表
下塗 フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩	84	m2			Y1G03250202 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
付属構造物塗替 フェノール樹脂MIO塗装 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類	84	m2			SPK20040314 00  単第0 -0025 表
中塗 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色	84	m2			Y1G03250203 レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	84	m2			SPK20040314 00  単第0 -0026 表
上塗 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色	84	m2			Y1G03250204 レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	84	m2			SPK20040314 00  単第0 -0027 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	1	m3			Y1G03271601 レベル4
人力積込 コンクリート塊	1	m3			SPK20040008 00  単第0 -0028 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(4.5km超)	1	m3			SPK20040146 00  単第0 -0029 表
殻処分 コンクリート殻	1	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
処分費					W0001
	3	t			
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	38	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	38	人			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
<b>** 直接工事費 **</b> #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
<b>** 共通仮設費計 **</b>					
<b>** 純工事費 **</b>					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....		率補正率.....			
<b>** 工事原価 **</b>					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費計**					
**契約保証費計**					

# 施工単価表

コンクリートはつり  
平均はつり厚3cm以下

SPK20040112

単第0 -0001 表

機械構成比: 1.72% 労務構成比: 94.36%

材料構成比: 3.92% 市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価: m2 当り  
4,466.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.67%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.50%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.65%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.47%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.81%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001





# 施工単価表

下地処理工

V0011

単第0 -0003 表

頁0 -0014

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.10	人			
特殊作業員	0.10	人			
普通作業員	0.50	人			
作業用車両 2tトラック	0.10	台			
発動発電機 2.4KVA 100V	0.50	台			
ディスクグラインダー 100V	0.50	台			
諸雑費	5	%			#03
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

10 m2 当り

# 施工単価表

樹脂プライマー塗布工  
0.3kg/m2

V0012

単第0 -0004 表

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.05	人			
特殊作業員	0.10	人			
普通作業員	0.20	人			
メタクリル樹脂プライマー パーミタイト#115 相当品	3.15	kg			
作業用車両 2tトラック	0.05	台			
発動発電機 2.4KVA 100V	0.10	台			
樹脂混練設備 ハンドミキサー, 練りバケツ	0.10	台			
諸雑費	5	%			#03
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

樹脂防水材塗布工  
1.0kg/m2

V0013

単第0 -0005 表

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.05	人			
防水工	0.20	人			
普通作業員	0.40	人			
メタクリル樹脂防水材 ドローガード SW-A 相当品	10.50	kg			
作業用車両 2tトラック	0.05	台			
発動発電機 2.4KVA 100V	0.10	台			
樹脂混練設備 ハンドミキサー, 練りバケツ	0.10	台			
諸雑費	5	%			#03
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

樹脂モルタル打設工  
t=10mm

V0014

単第0 -0006 表

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.10	人			
特殊作業員	0.10	人			
左官	0.30	人			
普通作業員	0.60	人			
メタクリル樹脂モルタル ドローガード JC-02 相当品	218.0	kg			
撒布骨材 人工骨材	5.3	kg			
作業用車両 4tトラック クレーン付	0.10	台			
発動発電機 200V	0.10	台			
樹脂混練設備 ハンドミキサー, 練りバケツ	0.10	台			
諸雑費	5	%			#03
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

樹脂トップコート塗布工  
0.5kg/m2

V0015

単第0 -0007 表

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.05	人			
特殊作業員	0.10	人			
普通作業員	0.20	人			
メタクリル樹脂トップコート パーミトップ 相当品	5.25	kg			
作業用車両 2tトラック	0.05	台			
発動発電機 2.4KVA 100V	0.10	台			
樹脂混練設備 ハンドミキサー, 練りバケツ	0.10	台			
諸雑費	5	%			#03
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			



# 施工単価表

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0009 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.06%

労務構成比:

43.68%

材料構成比: 51.26%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,062.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	3.42%		コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.97%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.55%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009













# 施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)  
補修延べ延長74.6m

V1020037

単第0 -0015 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	4.327	人			
特殊作業員	7.162	人			
普通作業員	5.297	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当品	82.61	kg			
系亜硫酸リチウム40%水溶液 プロコン40 相当品	91.79	kg			
亜硝酸リチウム含有シール材 リハビリペースト	29.10	kg			単第0-0016 表
低圧注入器具 リハビリシリンダー 相当品 5回転用	299	本			
器具雑費	14	%			#09
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			



















# 施工単価表

付属構造物塗替

SPK20040314

単第0 -0025 表

フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

85.22% 材料構成比: 14.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,102.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	83.55%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_フェノール樹脂系M10塗料 中塗・上塗用,色(グレー)	14.78%		フェノール樹脂M10塗料		TTPC00068 TTPT00068
積算単価			積算単価		EP001
A=3 G=1 フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

# 施工単価表

付属構造物塗替

SPK20040314

単第0 -0026 表

長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.09%

材料構成比: 5.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

998.15000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.25%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 中塗用,白	5.91%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 中塗用		TTPCD0173 TTPT00069
積算単価			積算単価		EP001
A=10 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

# 施工単価表

付属構造物塗替

SPK20040314

単第0 -0027 表

長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.11%

材料構成比: 5.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

997.96000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.27%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 上塗用,白	5.89%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 上塗用		TTPCD0185 TTPT00070
積算単価			積算単価		EP001
A=24 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		



# 施工単価表

殻運搬

SPK20040146

単第0 -0029 表

Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込

DID区間有り 運搬距離6.0km以下(4.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.12% 労務構成比:

70.66% 材料構成比: 9.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,713.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.66%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 E=1	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り -(全ての費用)		B=2 D=28	人力積込 運搬距離6.0km以下(4.5km超)	

数量総括表（中之町64号線1号橋梁（西田橋））

工種	種別	細別	規格	単位	合計	備考
上下部工	断面修復工	はつり殻(人力運搬)		t	0.24	
		断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材 (亜硝酸リチウム混入)	m <sup>3</sup>	0.12	亜硝酸リチウム 7.39kg/m <sup>2</sup>
	ひび割れ補修工	ひび割れ注入工 0.2～1.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	40.2	
		ひび割れ注入工 1.0～2.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	11.2	
		ひび割れ注入工 2.0～5.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	23.2	
	表面被覆工	下地処理	高圧洗浄	m <sup>2</sup>	160.94	
		表面被覆工(上部工)	シラン系表面含浸材	m <sup>2</sup>	125.65	0.2kg/m <sup>2</sup> ロス率10%
		表面被覆工(下部工)	1層:亜硝酸リチウム系表面含浸材+ 2層:シラン系表面含浸材	m <sup>2</sup>	35.29	1層:0.30kg/m <sup>2</sup> ロス率10% 2層:0.18kg/m <sup>2</sup> ロス率10%
	水切設置工	下地処理	サンダーまたはブラシ等	m <sup>2</sup>	1.40	
		水切設置工	後付け型水切り材	m	56.14	
ガードレール補修工	塗装塗替工	塗装準備	ビーム撤去・再設置	m	55.35	
		下地処理	2種ケレン	m <sup>2</sup>	83.72	
		塗装塗替工	防護柵類	m <sup>2</sup>	83.72	
	笠木設置工	現場溶接工	溶接作業	m	0.40	
		笠木設置工	溝形鋼	m	1.84	[-150x50x3.2
			丸頭ボルト・ナット M16	セット	4	
現場削孔 φ18	孔		1			
排水管補修工	排水管補修工	排水管補修	塩ビ製排水管 VP100用	箇所	7	
橋面工	舗装工	既設Co舗装はつり工	人力手はつり t=10mm	m <sup>3</sup>	84.8	V=0.85m <sup>3</sup>
		表面処理工		m <sup>2</sup>	90.2	
		プライマー塗布工	パーミタイト#115相当	m <sup>2</sup>	90.2	
		防水層設置工	ドーロガード樹脂 SW-A相当	m <sup>2</sup>	90.2	
		薄層樹脂舗装工	樹脂モルタルJC-02相当	m <sup>2</sup>	84.8	
		トップコート塗布工	パーミトップ相当	m <sup>2</sup>	5.4	
	伸縮装置工	埋設型伸縮継手装置	A1橋台 車道用	m	5.950	
			P1橋脚 車道用	m	3.040	
			A2橋台 車道用	m	3.040	
		地覆部止水対策工	目地補修材	リッター	0.73	

## 6.2 上下部工

### 1. 断面修復工

#### 1) はつり殻(人力運搬)

$$V = 0.00280 + 0.00740 + 0.09620 = 0.106 \text{ m}^3$$

$$W = 0.106 \times 2.3 = 0.244 \text{ t}$$

#### 2) 断面修復工 (ポリマーセメントモルタル)

$$V = ( 0.0050 + 0.0006 + 0.0042 + 0.0111 + 0.0962 ) = 0.117 \text{ m}^3$$

### 2. ひび割れ注入工

(超微粒子セメント系ひびわれ注入材+浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液)

#### 1) 0.2~1.0mm未満

$$L = 35.90 + 4.30 = 40.20 \text{ m}$$

	ひび割れ幅	ひび割れ深さ	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.001	x 0.200	x 40.20	x 975	x 1.5	(注入材) = 11.76 kg

	シール幅	厚み	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.150	x 0.001	x 40.20	x 2000	x 1.3	(シール材) = 15.68 kg

	ひび割れ幅	ひび割れ深さ	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.001	x 0.200	x 40.20	x 1250	x 1.3	(亜硝酸リチウム) = 13.07 kg

	延長	間隔				
N=	40.20	/ 0.250				(注入器) = 161 本

#### 2) 1.0~2.0mm未満

$$L = 11.20 = 11.20 \text{ m}$$

	ひび割れ幅	ひび割れ深さ	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.002	x 0.350	x 11.20	x 975	x 1.5	(注入材) = 11.47 kg

	シール幅	厚み	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.150	x 0.001	x 11.20	x 2000	x 1.3	(シール材) = 4.37 kg

	ひび割れ幅	ひび割れ深さ	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.002	x 0.350	x 11.20	x 1250	x 1.3	(亜硝酸リチウム) = 12.74 kg

	延長	間隔				
N=	11.20	/ 0.250				(注入器) = 45 本

#### 3) 2.0~5.0mm未満

$$L = 23.20 = 23.20 \text{ m}$$

	ひび割れ幅	ひび割れ深さ	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.005	x 0.350	x 23.20	x 975	x 1.5	(注入材) = 59.38 kg

	シール幅	厚み	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.150	x 0.001	x 23.20	x 2000	x 1.3	(シール材) = 9.05 kg

	ひび割れ幅	ひび割れ深さ	延長	密度 (Kg/m <sup>3</sup> )	ロス率	
W=	0.005	x 0.350	x 23.20	x 1250	x 1.3	(亜硝酸リチウム) = 65.98 kg

	延長	間隔				
N=	23.20	/ 0.250				(注入器) = 93 本

ひび割れ注入工  $\Sigma L = 74.60 \text{ m}$

注入材 82.61 kg シール材 29.10 kg 亜硝酸リチウム 91.79 kg 注入器 299 本

### 3. 表面被覆工

#### 1) 下地処理 (高压洗浄)

・ 上部工

$$A = 14.680 + 15.355 + 49.368 + 46.242 = 125.65 \text{ m}^2$$

・ 下部工

$$A = 4.490 + 2.566 + 28.233 = 35.29 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 160.94 \text{ m}^2$$

#### 2) 表面被覆工

・ 上部工

(シラン系表面含浸材)

$$A = 125.65 = 125.65 \text{ m}^2$$

・ 下部工

(1層:亜硝酸リチウム系表面含浸材 + 2層:シラン系表面含浸材)

$$A = 35.29 = 35.29 \text{ m}^2$$

### 4. 水切設置工

#### 1) 下地処理 (サンダーまたはブラシ等)

$$A = 56.141 \times 0.025 = 1.40 \text{ m}^2$$

#### 2) 水切設置工

(後付け型水切り材)

$$L = 56.141 = 56.14 \text{ m}$$

6-2(1) 断面修復工計算書

工種	鉄筋露出部 (PC桁部)		剥離部 (PC桁部)		鉄筋露出部 (地覆部)		剥離部 (地覆部)		浮き部 (下部工)	
	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積
断面修復工	① 0.10 × 0.10 =	0.010	1) 0.10 × 0.10 =	0.010	⑦ 0.10 × 0.10 =	0.010	3) 0.10 × 0.05 =	0.005	(1) 0.50 × 1.00 =	0.500
	② 0.10 × 0.10 =	0.010	2) 0.20 × 0.10 =	0.020	⑧ 0.10 × 0.10 =	0.010	4) 0.45 × 0.40 =	0.180	(2) 0.30 × 0.80 =	0.240
	③ 0.10 × 0.30 =	0.030			⑨ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	④ 0.10 × 0.30 =	0.030			⑩ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑤ 0.10 × 0.10 =	0.010			⑪ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑥ 0.10 × 0.10 =	0.010			⑫ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑦ 0.10 × 0.10 =	0.010			⑬ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑧ 0.10 × 0.10 =	0.010			⑭ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑨ 0.10 × 0.30 =	0.030			⑮ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑩ 0.10 × 0.30 =	0.030			⑯ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑪ 0.10 × 0.30 =	0.030			⑰ 0.10 × 0.10 =	0.010				
	⑫ 0.50 × 0.10 =	0.050			⑱ 0.10 × 0.10 =	0.010				
合計(m2)	面積	0.250	0.030	0.070	0.185	0.740				
合計(m3)	はつり工	0.0000	0.0000	0.0028	0.0074	0.0962				
合計(m3)	断面修復工	0.005	0.0006	0.0042	0.0111	0.0962				

注記) PC桁部はつり厚は、 0 mとする。(PC桁へのはつりは行わない) PC桁部断面修復厚は、 0.02 mとする。  
 地覆部はつり厚は、 0.04 mとする。(3D程度を確保) 地覆部断面修復厚は、 0.06 mとする。  
 下部工はつり厚は、 0.13 mとする。(かぶり+既設鉄筋+余裕幅≒130mm) 下部工断面修復厚は、 0.13 mとする。

6-2(2) ひび割れ補修工計算書

工種	0.2~1.0mm未満 (下部工)	0.2~1.0mm未満 (下部工)	1.0~2.0mm未満 (下部工)	2.0~5.0mm未満 (下部工)			
	長さ	長さ	長さ	長さ	長さ	長さ	長さ
ひび割れ補修工	<1> 0.50	<34> 0.20	[1] 0.70	[4] 1.60			
	<2> 0.30	<35> 0.20	[2] 0.60	[6] 1.60			
	<3> 0.70	<36> 0.90	[3] 0.50	[7] 1.90			
	<4> 0.50	<37> 1.10	[5] 4.60	[10] 6.30			
	<5> 0.50	<38> 0.50	[8] 2.60	[11] 1.70			
	<6> 0.60	<39> 0.60	[9] 0.70	[12] 6.30			
	<7> 0.40	<40> 0.40	[13] 0.50	[16] 1.60			
	<8> 1.40	<41> 0.40	[14] 0.50	[17] 2.20			
	<9> 1.50		[15] 0.50				
	<10> 0.80						
	<11> 0.40						
	<12> 0.50						
	<13> 0.50						
	<14> 0.50						
	<15> 0.80						
	<16> 0.20						
	<17> 0.50						
	<18> 0.40						
	<19> 1.30						
	<20> 0.30						
	<21> 0.50						
	<22> 0.40						
	<23> 2.30						
	<24> 2.30						
	<25> 5.80						
	<26> 2.60						
	<27> 2.10						
	<28> 1.90						
	<29> 2.50						
	<30> 0.80						
	<31> 0.80						
	<32> 0.60						
	<33> 0.70						
合計	35.90	4.30	11.20	23.20			

### 6.3 ガードレール補修工

#### 1. 塗装塗替工

##### 1) 下地処理 (2種ケレン)

笠木

$$A = 0.500 \times ( 27.000 + 28.350 ) = 27.68 \text{ m}^2$$

ビーム

$$A = 0.850 \times ( 27.000 + 28.350 ) = 47.05 \text{ m}^2$$

支柱

$$A = 0.310 \times ( 14 \text{ 本} + 15 \text{ 本} ) = 8.99 \text{ m}^2$$

---

$$\Sigma A = 83.72 \text{ m}^2$$

##### 2) 塗装塗替工 (防護柵類)

$$A = 83.72 = 83.72 \text{ m}^2$$

#### 2. 笠木設置工

##### 1) 現場溶接工

$$L = 0.403 = 0.403 \text{ m}$$

##### 2) 笠木設置工

笠木 ( 溝形鋼 [-150x50x3.2 ] )

$$L = 1.843 = 1.84 \text{ m}$$

丸頭ボルト・ナット (M16)

$$N = 4 = 4 \text{ セット}$$

現場削孔 (φ18)

$$N = 1 = 1 \text{ 箇所}$$

### 6.4 排水管補修工

#### 1. 排水管補修工

塩ビ製排水管 (VP100用)

$$n = 7 \text{ 箇所} = 7 \text{ 箇所}$$

## 6.4 薄層舗装工

1) 既設Co舗装はつり工	t=10mm			
【A1-P1径間】	(図面参照)			
A1	=	44.2	=	44.2 m <sup>2</sup>
v1	=	44.2 × 0.010	=	0.44 m <sup>3</sup>
【P1-A2径間】				
A2	=	( 13.750 - 0.400 ) × 3.040	=	40.6 m <sup>2</sup>
v2	=	40.6 × 0.010	=	0.41 m <sup>3</sup>
【地覆部】				
A3	=	( 13.340 × 3 + 10.630 + 3.835 ) × 0.100	=	5.4 m <sup>2</sup>
・ はつり工 (人力手はつり t=10mm)				
ΣV	=	0.44 + 0.41	=	0.85 m <sup>3</sup>
・ 表面処理工 (手工具による表面処理)				
ΣA	=	44.2 + 40.6 + 5.4	=	90.2 m <sup>2</sup>
・ 撤去殻 (無筋コンクリート)				
ΣW	=	0.85 × 2.3 t/m <sup>3</sup> (単位質量)	=	2.0 t
・ プライマー塗布面積 (パーミタイト#115相当)				
ΣA	=	44.2 + 40.6 + 5.4	=	90.2 m <sup>2</sup>
・ 防水層 (ドーロガード樹脂 SW-A相当)				
ΣA	=	44.2 + 40.6 + 5.4	=	90.2 m <sup>2</sup>
・ 薄層樹脂舗装 (樹脂モルタルJC-02相当)				
ΣA	=	44.2 + 40.6	=	84.8 m <sup>2</sup>
・ トップコート (パーミトップ相当)				
ΣA	=	5.4	=	5.4 m <sup>2</sup>

## 1.3 伸縮装置取換工

1) 埋設型伸縮継手装置 (MMジョイント相当) (図面参照)				
【A1橋台】				
L	=	5.950	=	5.950 m
【P1橋脚】				
L	=	3.040	=	3.040 m
【A2橋台】				
L	=	3.040	=	3.040 m
2) 地覆部止水対策				
・ 目地補修材 (シリコン系シーリング材) w20mm x h10				
【A1橋台・A2橋台】				
L	=	0.495 + 0.100 + 0.100	=	0.70 m
リッター	=	0.70 × 0.02 × 0.01 × 1000	=	0.14 リッター
L	=	( 0.350 + 0.100 + 0.100 ) × 3	=	1.65 m
リッター	=	1.65 × 0.02 × 0.01 × 1000	=	0.33 リッター
Σリッター	=	0.14 + 0.33	=	0.47 リッター
【P1橋脚】				
L	=	( 0.350 + 0.100 + 0.200 ) × 2	=	1.30 m
リッター	=	1.30 × 0.02 × 0.01 × 1000	=	0.26 リッター
Σ Σリッター	=	0.47 + 0.26	=	0.73 リッター

# 損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))(その1)

①橋面状況



コンクリート舗装全体に経年疲労に伴う軽微なひびわれが生じている

②A1前面漏水状況



伸縮装置からの漏水が橋台前面に生じている

③排水管路末状況



排水管路末部の欠損に伴い、側面に伝い水痕が確認される

④P1起点側漏水状況



伸縮装置からの漏水が橋脚正面に生じている

⑤P1終点側漏水状況



伸縮装置からの漏水が橋脚正面に生じている

⑥排水管路末状況



排水管路末部の欠損に伴い、側面に伝い水痕が確認される

⑦A2前面漏水状況



伸縮装置からの漏水が橋台前面に生じている

⑧ガードレール状況



ガードレール端部に変形が生じている

⑨橋面状況

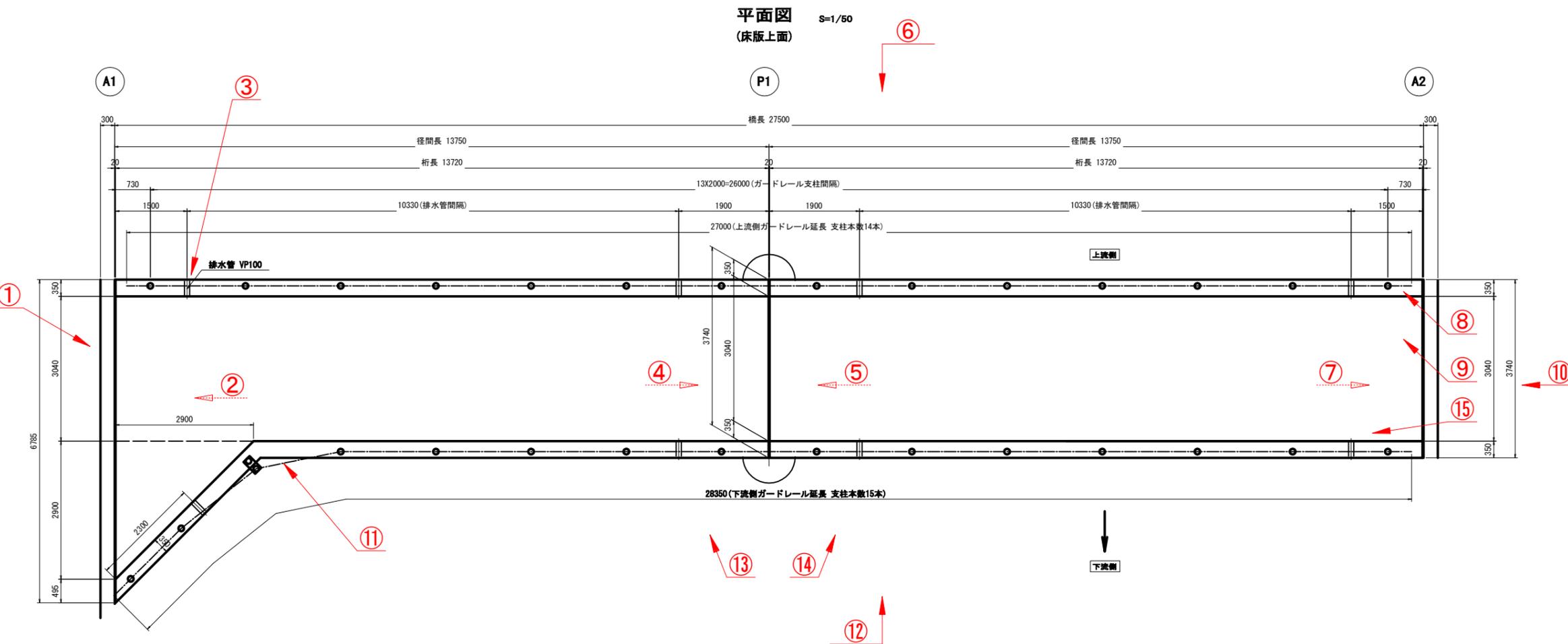


コンクリート舗装全体に経年疲労に伴う軽微なひびわれが生じている

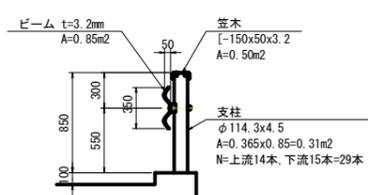
⑩橋面状況



コンクリート舗装全体に経年疲労に伴う軽微なひびわれが生じている



ガードレール詳細図 S=1/30



⑪ガードレール状況



ガードレールの笠木に局部的な欠損が生じている

⑫排水管路末状況



排水管路末部の欠損に伴い、側面に伝い水痕が確認される

⑬排水管路末状況



排水管路末部の欠損に伴い、側面に伝い水痕が確認される

⑭排水管路末状況



排水管路末部の欠損に伴い、側面に伝い水痕が確認される

⑮ガードレール状況

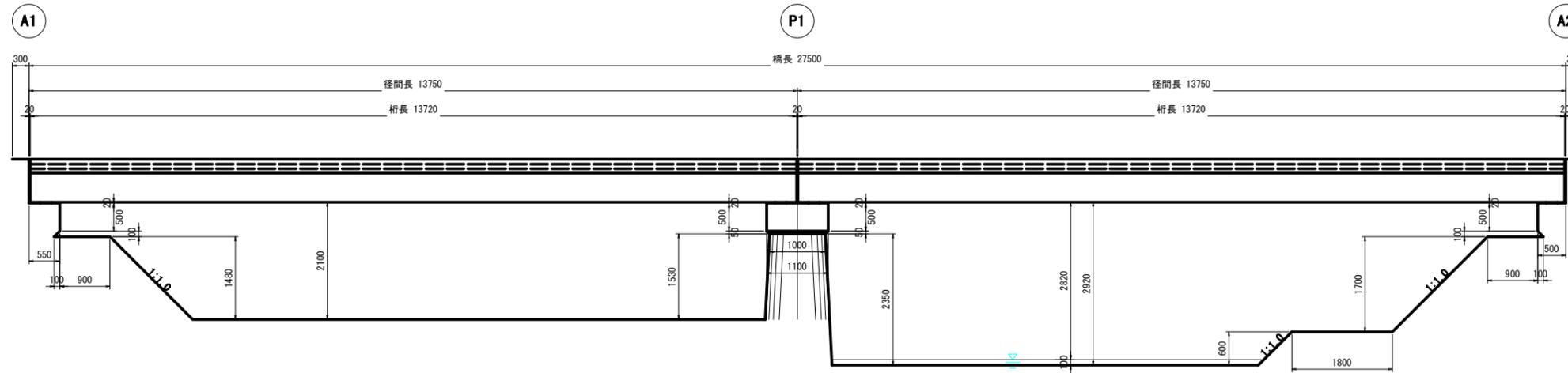


ガードレール全域に著しい腐食が生じている

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	1 / 4
事業者名	三原市(土木整備課)		

# 損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))(その2)

側面図 S=1/50

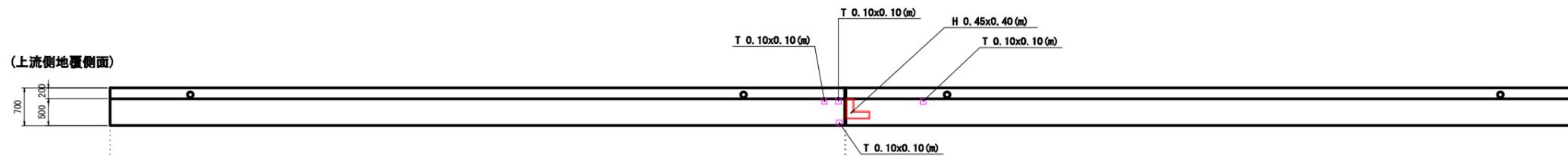


凡例

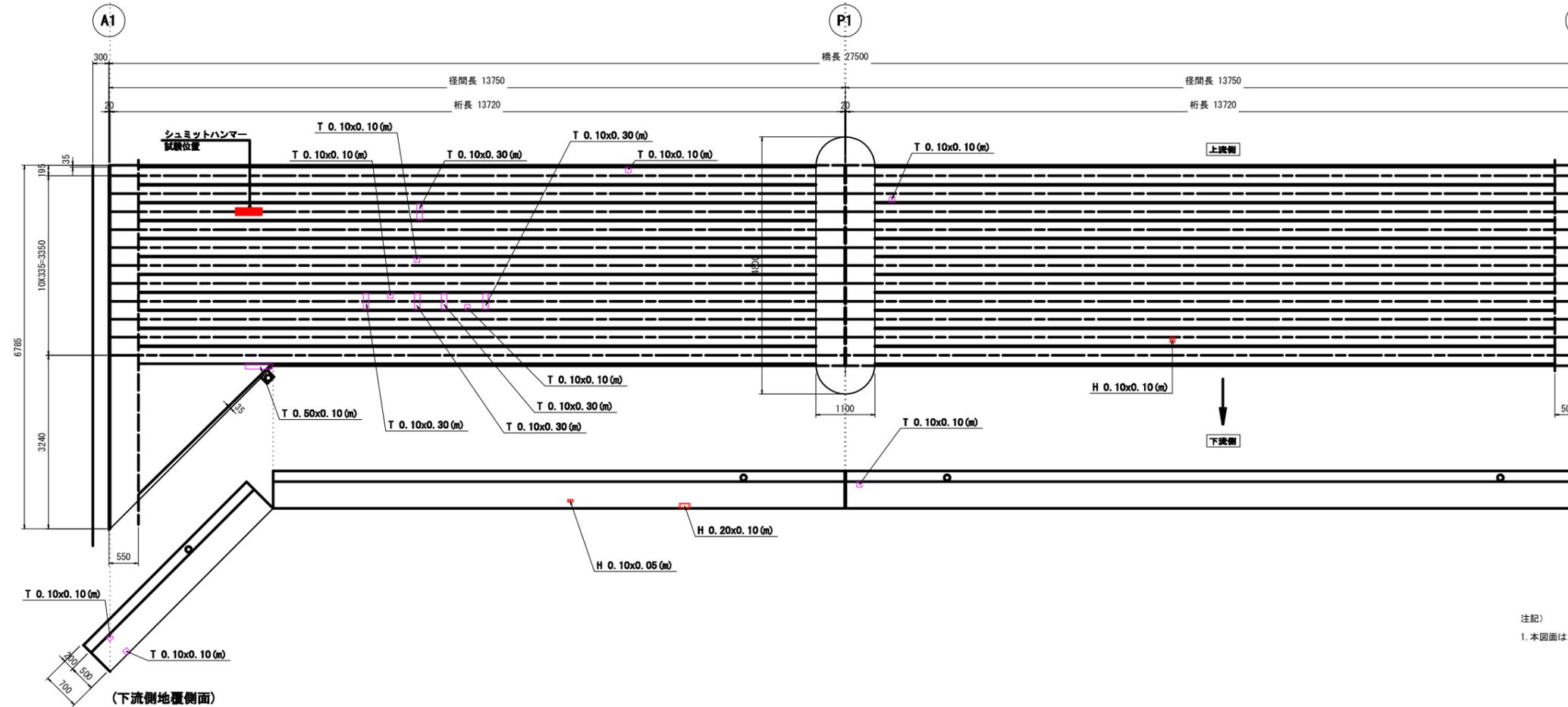
	C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
	CS	錆汁を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
	C	ひび割れ(1.0mm以上)
	CS	錆汁を伴うひび割れ(1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剝離
	HT	コンクリートの剝離・鉄筋露出
	Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
	R	漏水
	T	鉄筋露出
	M	ジャンカ

※ひび割れ(0.2mm未満)に関しては対象外とし計上しない。

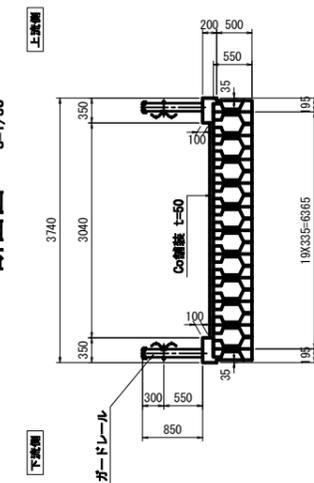
(上流側地覆側面)



平面図 (床版下面) S=1/50



断面図 S=1/50



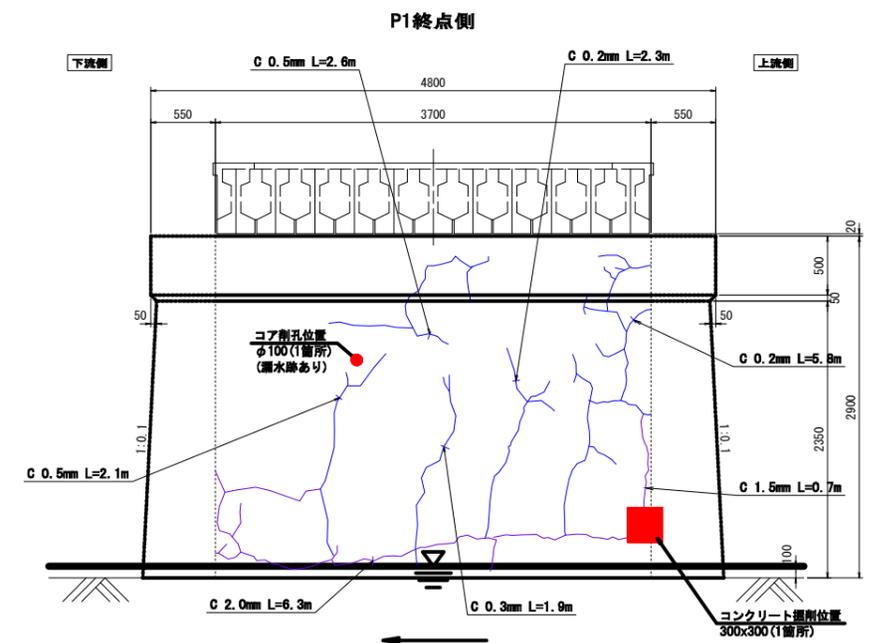
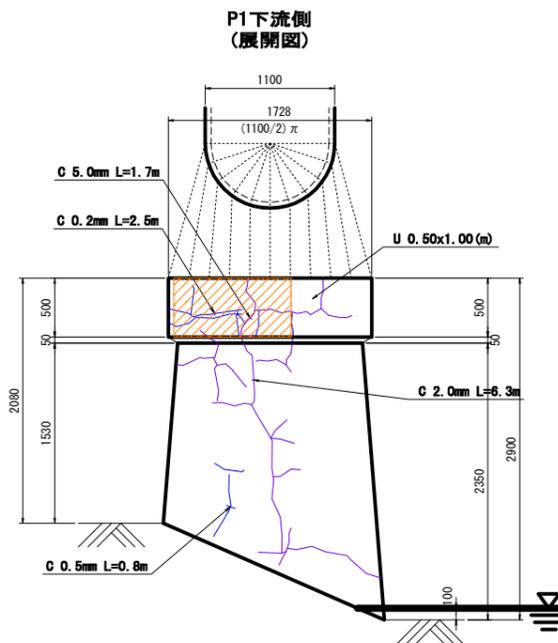
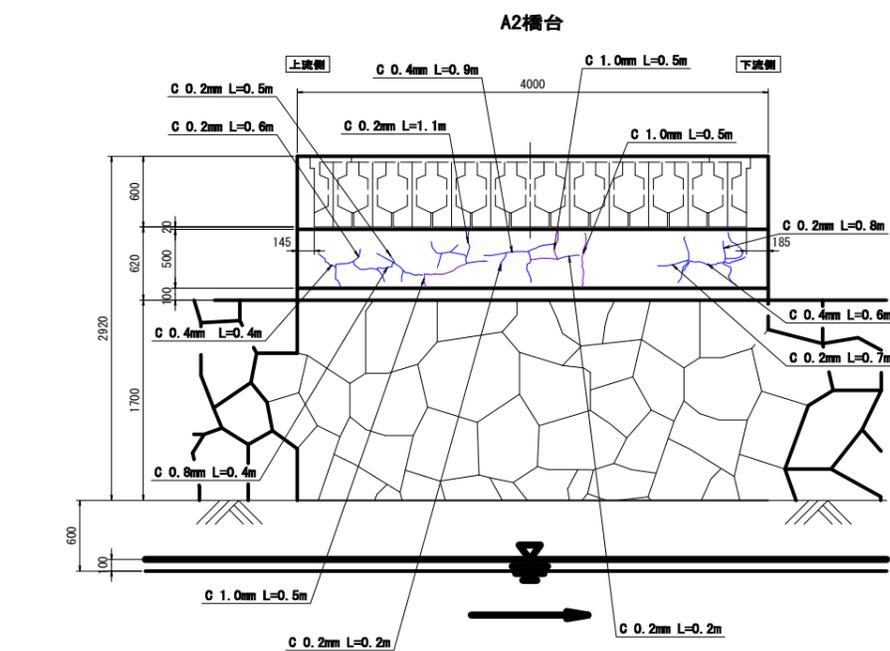
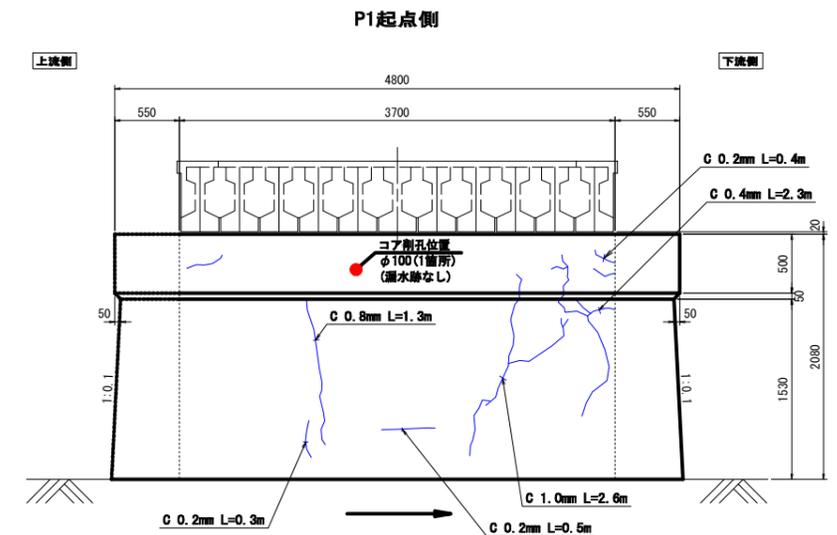
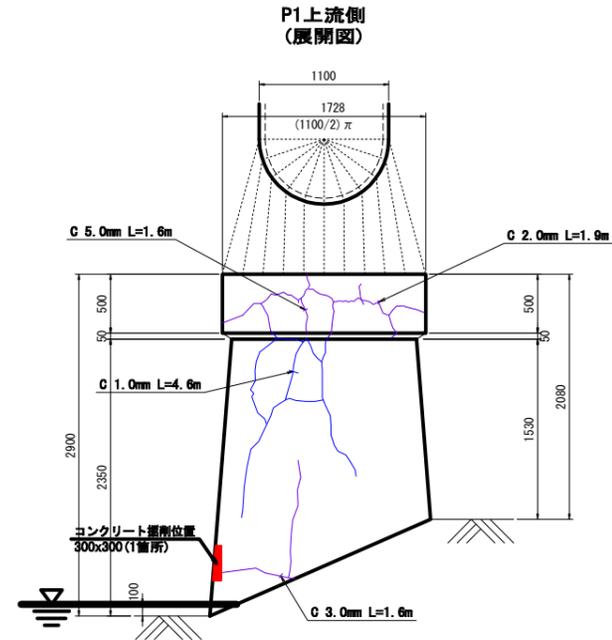
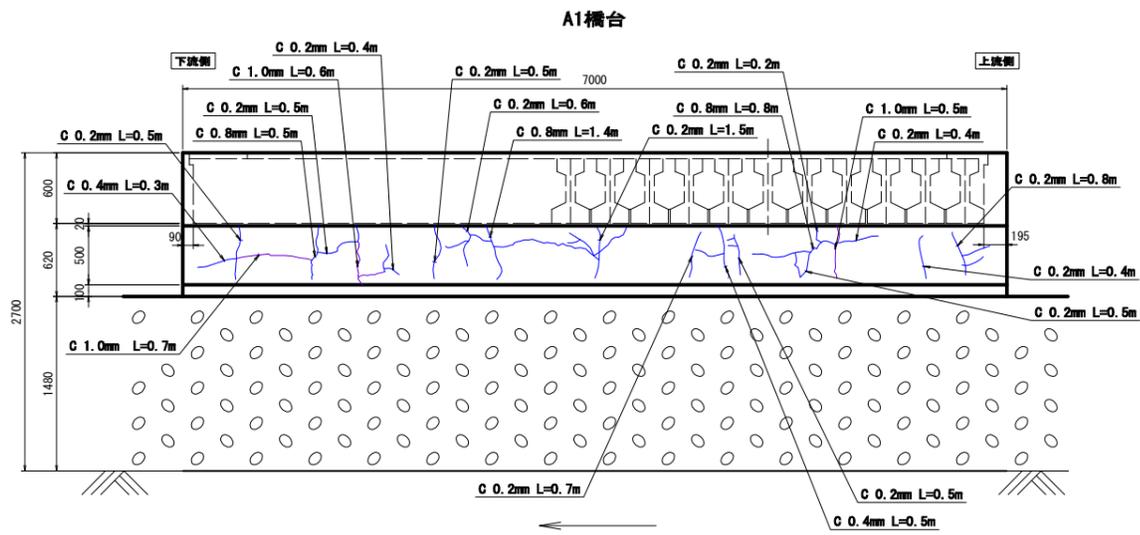
注記

1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
事業者名	三原市(土木整備課)		

# 損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))(その3)

正面図 S=1/30

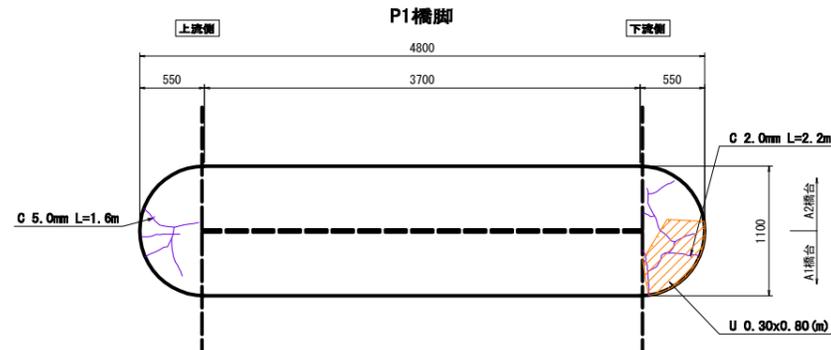


凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CS	錆汁を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CS	錆汁を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剝離
HT	コンクリートの剝離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
T	鉄筋露出
M	ジャンカ

※ひび割れ(0.2mm未満)に関しては対象外とし計上しない。

平面図 S=1/30



注記)

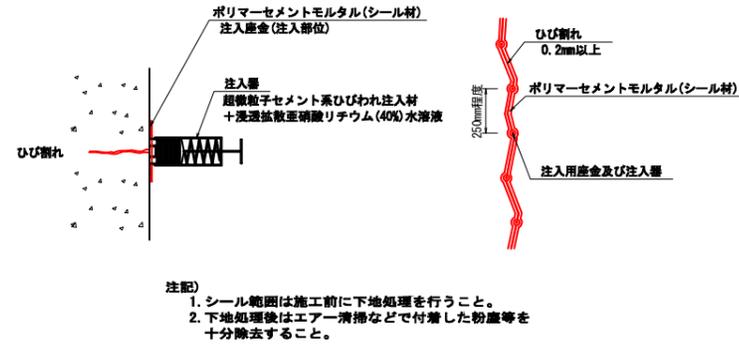
1. 本図面は、既存資料及び現地寸法調査にて作成した図面である。

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
事業者名	三原市(土木整備課)		

# 補修図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))(その4)

(ひび割れ補修工・断面修復工・塗装塗替工)

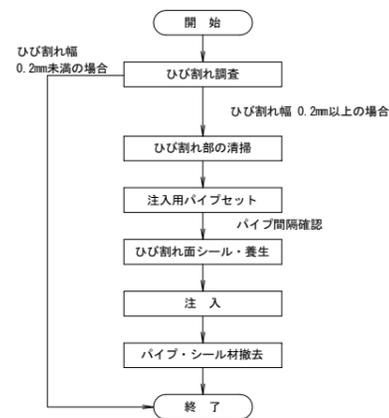
ひび割れ補修工詳細図  
(ひび割れ幅 0.2mm以上)



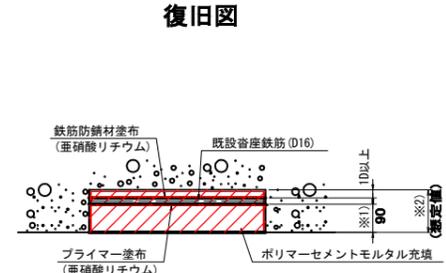
材料表

工種	仕様
ひびわれ注入工	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液

施工フロー



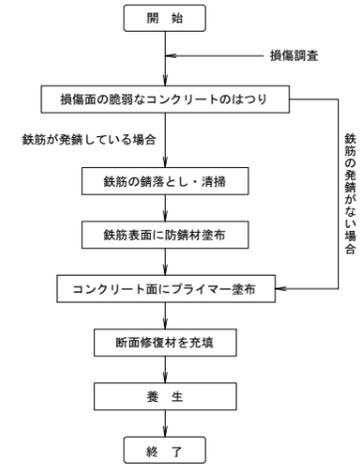
断面修復工詳細図  
(下部工・左官工法)



材料表

工種	仕様
プライマー・鋼材防錆処理工	亜硝酸リチウム
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材(亜硝酸リチウム混入)

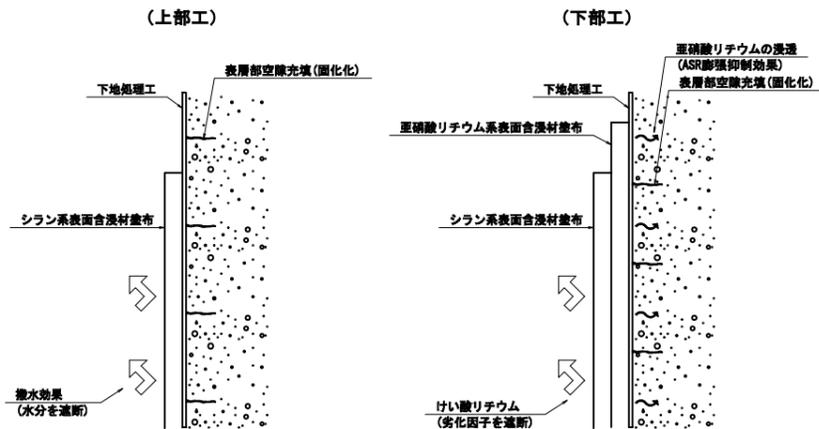
施工フロー



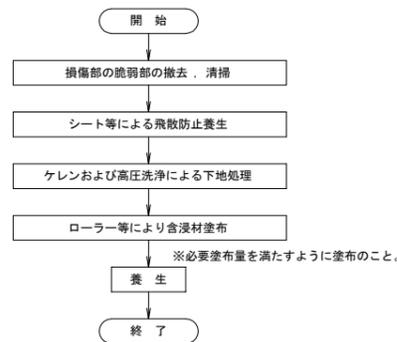
注) 鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

表面被覆工詳細図

(表面含浸材塗布)



施工フロー



補修工法

工種	細別	規格・材料
断面修復工	はつり工	左官作業
	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材(亜硝酸リチウム混入)
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工(0.2~0.1mm未満)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
	ひび割れ注入工(1.0~2.0mm未満)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
	ひび割れ注入工(2.0~5.0mm未満)	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液
表面被覆工	下地処理	高圧洗浄
	表面被覆工(上部工)	シラン系表面含浸材
	表面被覆工(下部工)	1層: 亜硝酸リチウム系表面含浸材 2層: シラン系表面含浸材
水切設置工	下地処理	サンダーケレン
	水切設置工	後付け型水切り材
塗装塗替工	下地処理	2種ケレン
	塗装塗替工	さび安定工法
笠木設置工	現場溶接工	溶接作業
	笠木設置工	清形鋼 [-150x50x3.2 L=1.843m] 丸頭ボルト・ナット M16 現場削孔 φ18
排水管補修工	排水管補修工	持出しニップル VP100用

注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり部等の落下を防ぐよう防護すること。
10. はつり後、ひび割れ損傷が深部にて確認される場合は、ひびわれ注入工と併用し施工すること。
11. 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレンセンスなどを除去すること。
12. 表面被覆材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
13. 必要塗布量を満たすように塗布すること。

工事名	橋梁補修工事(市道中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
図面名	損傷図(中之町64号線1号橋梁(西田橋))		
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
事業者名	三原市(土木整備課)		

位置图



市道中之町64号線1号桥梁(西田橋)